

三層フローリング（低温床暖対応）の施工方法

※施工前の注意

- 立て掛けの保管や湿度の高い場所や直射日光の当たる場所での保管は反り、捻れ、スキ、突き上げの原因になるので、必ず避けてください。
- 天然無垢素材を使用しているため、色と柄の違いがあるので、予め仮並べし、全体のバランスがとれるよう施工してください。
- 施工後の床鳴り、突き上げなどの不具合を防ぐために、床下地に段差の出ないように施工してください。（温水マット式の場合床下地は含水率が15%以下の合板を使用してください。）

※低温床暖設備の設定について

- 温水マット式床暖の場合は、フローリングの下に必ず合板捨て貼り（t12mm）をご使用ください。
- 電気パネル式床暖の場合は、パネルの上に直接施工できます。小根太の部分にウレタン接着剤と釘を併用して施工してください。パネルの温度は必ず40度以下に設定してください。
- 電気シート式床暖の場合は、床下地の上にL303mmピッチにシートを並べて、シートとシートの間に30mm位間隔があるタイプの場合は、シートの上に直接施工できます。小根太（合板）部分にウレタン接着剤と釘を併用して施工してください。シートの温度は必ず40度以下に設定してください。

※施工上の注意

- 接着剤は専用のウレタン樹脂系接着剤を使用してください。
- ※注）酢酸ビニール系、木工用ボンド等は使用しないでください。
- 接着剤は点付けでなく、小根太巾一杯に線状で塗布してください。（床材裏に303mm以内の間隔でビート状塗布し、両短辺はフローリングギリギリに塗布することを推奨します。）
 - フローリング用スクリュー釘（38mm以上）かステープル釘（38mm以上）を使用してください。
 - 釘は45度の角度で小根太に確実に打ってください。長手（6尺側）オスサネ部に7箇所以上、短手オスサネ部に2箇所以上釘打ちして下さい。
 - 多湿時のフローリングの伸びを考慮して、クサビ等を用いてフローリングの端面の突き合わせ部分から壁際まで3～5mm隙間をあけて施工し、貼り終わり後は必ずクサビ等を取り除いて下さい。スペーサー（t0.5mm程度）を使い、隙間を設けて施工してください。

※施工後の注意

- 施工後は表面保護のため、木屑・砂・ゴミを完全に除去し、養生シート等で隙間なく全面養生して下さい。その際フローリングに直接養生テープを使用することを避けてください。フローリング表面の塗装剥離を起こす恐れがあります。
- 施工中に雨の吹き込みによりフローリングの表面を濡らすと、突き上げや表面化粧板のハガレやシミの原因になるので、ご注意ください。
- カーペット（ラグ）やストーブを使用すると、熱によりフローリングに割れ、狂い、変色が生じる恐れがあるので、ご注意ください。

※免責事項

- 天然無垢素材を使用しているため、特有の色ムラ、柄の違いがあるので、ご使用前に十分ご理解の上施工してください。品質以外の原因での返品・交換はお受け致しかねます。
- 商品開梱時に品質上の問題が見つかった場合は施工せずに、7日以内に弊社にご連絡してください。施工後のクレームは原則としてお受け致しかねます。